

# 映画で学ぶ 環境問題



アース (Earth)  
 主演：地球 (46億歳)  
 共演者：北極グマ / アフリカ象 / ザトウクジラ、他  
 監督：アラスデア・フォザーギル /  
 マーク・リンフィールド  
 2007年ドイツ・イギリス合作

記録した『ディープ・ブルー』を制作したイギリスのBBCチームの制作によるものです。

46億年前、巨大な隕石が衝突し地球の地軸が23.5度傾斜してしまつたことから始まる生命の歴史。この奇跡の歴史は、今、急激に歩みを早めています。それは地球温暖化による気温変動によるものなのです。

この映画では、現代の地球上で生き抜く動物たちの過酷な日常が映し出されています。

この過酷な大自然の中で繰り広げられる「弱肉強食」の世界・・・お腹を空かした猛獣は弱いものを狙うため、生後間もない赤ちゃんが標的にされるといふ動物の世界・・・誠心誠意アピールしても、メスからは見向きもされない動物達の恋愛・・・この映画を見てみると「生きる」ということは、どれほど過酷なことなのか。思い知らされることも、人間世界の生存競争など、まだ恵まれたほうではないかとさえ思えてきます。

この映画の素晴らしいところは、ただ過酷さを演出しているだけではなく、手を加えていない大自然の素晴らしさを満喫できる点にあります。

氷の地から熱帯の森、深海におよぶまでを余すことなく捉えた映像・・・雄大な滝、壮大な森、美しい自然。そのすべては、まるで母の胎内を感じさせるほど人類が懐かしいと感じる映像の数々です。これらの映像は、見ているだけで心が癒され、生きる元気をもらえ、地球という場所の美しさを知ることができ、映像のトリップ(旅行)です。

そして、遠く離れた氷海で起きていた北極グマの苦難、アフリカ象の辛乾を見ていると、地球温暖化がもたらす悲劇がどれほど奥深いものか、を思い知らされるのです。

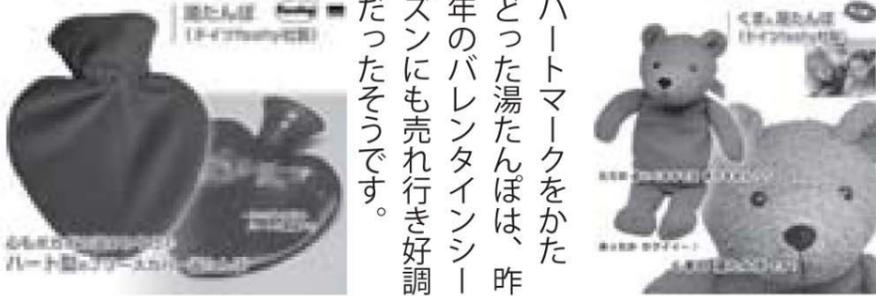
大自然の美：それはベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のフルオーケストラとともに、これ以上美しい存在はありえないと思わせてくれることでしょう・・・

そうですね！  
 人類の母なる地球は、決して人類だけのものではありません・・・！  
 むしろ人類は脇役で、主役は自然なのだと思えて感じ「地球(アース)と自然を大切にしよう」と心の底から思える映画です。  
 ぜひご覧ください。



## ユニーク 街で見つけたエコグッズのご紹介

一段落したとはいえ、一時期の原油高騰は石油系エネルギーに依存している私たちに大きな衝撃を与えました。一方で、これを商機とオシヤレな製品を続々開発しているのが、湯たんぽメーカーです。湯たんぽ、といえば昔なつかしい保温グッズ。一時はすたれて見向きもされなかったのに、原油高騰やエコ商品見直し機運にのっかって、異業種まで参入するしまつ。



「ズ」としても重宝されるか。

ハートマークをかたどった湯たんぽは、昨年のバレンタインシーズンにも売れ行き好調だったそうです。

未曾有の不況が到来か、と心配される中、ふところ同様、寒く寒い布団の中も温めてくれるそうです。

大日新聞では情報として市販のエコグッズをご紹介しますが、推奨品としてお勧めする製品ではありません。

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

## スタッフ紹介

日頃は営業活動で皆様にお目に掛かっておりますスタッフの日常をお伝えします。

補助輪付き自転車に乗って5ヶ月になる娘。補助輪に身を任せすぎで傾いたままでも平気で走り続けているのが気にかかるし、もうそろそろ補助輪を取ってやるかと決めました。

しかしもちろん、ねじを取り外すだけでよいわけはなく、練習が必要になるわけです。どうやって練習したものかと考えていると、兄から練習方法を教わりました。それは実は何年も前から知られていて、某テレビ番組でも紹介されたらしいので有名な方法なのかもしれないんですが「ペダルはすし」という方法です。

まずペダルを外した自転車にまたがって地面を足で踏んで前進させる。最初は一步一步左右交互に足を踏み出す。慣れてきたら両足一度に踏み出すスピードを出していきながら、一瞬でも足が地面から離れている時間を長くすることに力を入れた。自転車の二つの車輪だけでペダルをとりながら前進する感覚を身に付けていく。そのまますすいっとすすめるようになってきたら、あとはペダルをつけて足を乗せてこいで進む練習を少しすればもうOK!

聞けばとても簡単なやり方で、その日のうちに簡単に乗れるようになる方法だといふので、半日あったら余裕だと安易に考えて練習当日を迎えました。まずペダルを外しての第一段階では転んで何度か泣きついてはきました。が頑張って続けていき、何回かしていくとペダルを踏むという感覚がなんとなくわかってきたようなので、ペダルを付けて最終段階に入りました。やっぱりこの方法はすごい。



製造部 藤嶋みゆき

次号も  
お楽しみに



URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

**DAINICHI CHEMICAL CO.,LTD.**

●本社  
 〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13  
 TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702  
 ●東京営業所  
 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-2-11  
 TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803